

会工同窓会

会報'01

1

嶺は秀づる磐梯山

水は湛ふる猪苗代

これぞ乾坤秀霊の

精気鑄り成る處

2

明治三十七春なかば

礎堅くぎずかれて

星霜ここに幾かへり

平和の覇者を育みぬ

3

身には白虎の粹を享け

鶴を徽章に雄々しくも

至誠勤労一すじに

進む健児の意気高し

4

峙つ嶺は嶮しくも

寄せる波は高くとも

これ奮闘の活舞臺

これぞ我等の天地なる

校歌(大正十一年制定)

帽章帽帯の基本型も校友会
発足の、この年に決まる。

会工同窓会総会



00'0'11 我等会工健児、ここに集えり!

秋も深まり、朝夕はめつくり涼しくなつてまいりましたが、同窓会会員の皆様には益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

二度にわたる世界大戦、高度経済成長、オイルショック、バブル全盛、そして崩壊などまさに激動の二十世紀は終結し、いよいよ二十一世紀が今年幕を開けました。

明治三十五年、福島県立工業学校として設立認可を受けて開校した私たちの母校は、この九十九年間で二万数千名の卒業生を輩出してまいりました。多くの優秀な人材が全国、全世界で活躍されていることは誠に喜びにたえません。まさに日本の工業技術の発展に大きく寄与してきたといつても過言ではないでしょう。また類まれなる才能で芸術・文化活動でも高い評価を受けている著名な同窓生も数多くおられます。

さて、私たちの後輩である母校の生徒達も見事な活躍を見せてくれています。多くの運動部の東北大会、全国大会出場、各種ロボット、創作自動車等の大会における優秀な成績、猛勉強の末の難関の資格取得など、まさに文武両道の学舎として確固たる存在感を示しております。

そして母校は来年、創立百周年という歴史的な瞬間が迫っています。「百周年実行委員会」を中心とした記念事業の成功のための本格的な活動は、



100周年に
力の結集を!

同窓会長 吉田一榮

まさに大詰めを迎えているところであります。同窓会館の建設、沿革史の編纂・発刊等の悲願達成のための正念場はこれからです。

今、戦後最悪といわれる不況の嵐が日本国中を席卷しております。このような中、私たちの趣意に賛同頂き、寄附金・協賛金という形で御協力頂きました同窓生の皆様、地域企業の皆様、在校生の保護者の皆様、母校の先生方に、改めて衷心より感謝を申し上げます。

しかしながら正直申し上げ、募金活動はなかなか厳しい状況にございます。母校の新世紀のさらなる発展、輝く未来は百周年記念事業の成功なくしては語れません。地域会工、職域会工、卒業学科会工等それぞれがさらなる団結の絆を深めPR活動を活発化させようではありませんか。そして、すべての同窓生一丸となった、大きなうねりを期待しようではありませんか。

母校は数年前からの外装・内装改修工事も順調に進み、文字通り美しく生まれ変わります。そして後輩達は、古き良き伝統を継承しながら新しい歴史を刻んでいくことでしょう。私たちはこのような時代であればこそ、母校をもう一度振り返る機会が必要なのではないでしょうか。母校の新たな一歩の礎を築くため全国の同窓生の皆さんの力を結集しましょう。同窓会会員皆様の御多幸、御発展を祈念し挨拶にかえさせていただきます。

夢多き新世紀の幕開けのとき—
記念事業への想いはひとつ、
母校の躍進を期して成功させよう。
合言葉は、2002年(平成14)!



会 総 会



— 学校長 根本健作

百年の歴史 飛躍!! 会工

実りの秋たけなわの良い季節を迎えて、平成十三年度の会津工業高等学校同窓会総会が、かくも盛大に開催されますこと心よりお祝い申し上げます。

また、会員の皆様のご活躍と、日頃から本校に寄せられる暖かいご支援に対し、教職員を代表して敬意と感謝を申し上げます。

四月九日の入学式には吉田同窓会長さん並びに役員の皆様のご臨席を賜り、可能性に満ちた三百二十名の新入生を迎え新年度を力強くスタートいたしました。

本校への入学志願状況は、推薦選抜に関する平成13年1月20日の民報一面記事見出し「会津工(情報技術)3.42倍でトップ」に象徴されますように各料とも高い人気を誇っています。それは、百年にも及ぶ二二、七一九名の本校卒業生の実績によって築かれてきたものであります。

本校は、来年百周年を迎える伝統校にふさわしく、全会津の高校で最も活躍している学校に与えられる高体連会津地区杯を五年連続受賞しております。

今年度は特に、全国インターハイに、新体操、ボクシング、バドミントン、陸上、ソフトテニス、水泳の多くの部が出場、水泳は夏季国体にも出場、セ

ラミックス科二年生の山口君が県高校新記録で国体7位に入賞するなど大活躍がみられました。

一方、春の高校野球で全会津の覇者となった野球部が秋の県大会では、前半戦を勝利しベスト8となった。後半戦を含め今後、甲子園にむけての活躍が期待されます。

また、本校では各学科の専門分野における資格取得に積極的で様々な実績をあげております。

今年度も幸先よく、春の情報処理技術者国家試験に合格者が誕生し新聞等に報道されたことは大変嬉しいことです。

また、省エネルギー手作り電気自動車「電動カー」ト創作全国大会」に、本校のカー部の三チームが出場、耐久レースの部で優勝、タイムトライアルの部でもう一チームが優勝するなど全国レベルでの活躍は、伝統を誇る「技術の会工」の証明であります。

さらに、県主催の科学技術論文コンテスト「野口賞」に、本校としては昨年、建築クラブが初入選、今年度は「省エネルギー自動車の研究」で優秀賞にチャレンジしております。

二十一世紀という変革の時代がスタートいたしました。本校の新しい歴史は、生徒によって築かれ

るものであります。その点、文武両道にわたる生徒の活躍が見られることは、まさに「寄せ来る波は高くとも、これぞ奮闘の活舞台」であり、会工健児の意気高しの感を強くいたしております。

百周年を迎える本校が、今後とも、有為の人材育成を推進するため、二年間、五億を費した四階建本館の内部大規模改修工事と、IT社会の進展に対応した校内情報通信ネットワークの構築を今年度中に完成させるなど、教育環境の整備につとめ、文武両道の精神による様々な実践を通じた生徒の人間形成と、進路希望の実現を図り、会工の新世紀の充実・発展に取り組んで参りたいと存じます。

会員の皆様には、今後とも暖かいご支援やご指導を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝を祈念いたしましてご挨拶と致します。

盛大な総会、誠にありがとうございます。

さあ、カウントダウンが始まった!
2001~2002
光陰矢の如し!あと一年。

平成13年同窓会事業報告

創立100周年関係

- ▶平成12年
- 11月6日 第5回礼状送付 13通
 - 11月7日 校内資金部会住所調査の件
 - 11月30日 資金部運営委員会開催
 - 12月4日 業者サラト打ち合わせ 第2回送付の件
 - 12月8日 各地区会工会・企業へ募金状況・住所調べ送付
 - 12月19日 第2回目募金趣意書送付(同窓生・職員)
 - 12月22日 第6回礼状送付 27通
- ▶平成13年
- 2月2日 会津地区企業募金趣意書送付 357社
 - 2月5日 資金部会 募金計画の件
 - 2月14日 第7回礼状送付 231通
 - 2月16日 資金部会 企業募金の件
 - 2月23日 企業募金の件で猪苗代会工会会長訪問
 - 2月26日 校内資金部会 企業募金訪問の件
 - 3月7日 校内実行委員会 現状の報告
 - 第8回礼状送付 69通
 - 4月3日 新入生オリエンテーション 会長保護者に募金依頼
 - 4月11日 第9回礼状送付 111通
 - 4月20日 校内実行委員会 募金計画等
 - 5月8日 校内職員趣意書・募金書配付
 - 5月11日 第10回礼状送付 78通
 - 5月26日 各地区会工会に企業調査依頼文書発送
 - 6月4日 100周年3部合同の会議 今後の計画
 - 6月6日 業者サラトへ住所判明者リスト送付 679名
 - 6月8日 記念式典の件で風雅堂訪問
 - 6月11日 第11回礼状送付 45通
 - 6月21日 同窓会館設計関係の契約する 白井設計(株)
 - 7月6日 校内実行委員会 校内の取り組みについて
 - 7月7日 同窓会館建設に関わる設計打ち合わせ
 - 県・業者・実行委員会 第1回
 - 7月19日 PTA新役員に委嘱状送付
 - 7月26日 第12回礼状送付 72通
 - 8月9日 税務署への申請の件で打ち合わせ
 - 8月20日 国税局に申請文書送付
 - 9月5日 校内主任打ち合わせ
 - 9月7日 業者サラト打ち合わせ・名簿刊行契約
 - 仙台国税局長より承認の回答
 - 9月13日 資金運営委員会 各部の準備について
 - 10月1日 式典会場確保 風雅堂にて

同窓会関係

- ▶平成12年
- 10月21日 平成12年度会工同総会総会(ルネッサンス中の島) 前半に若松会工会総会を行う 同窓会報25号発行
 - 10月28日 猪苗代会工会総会 手代木幹事長他4名出席
 - 11月18日 電友会総会 梅津副会長他2名出席
 - 三菱伸銅(株) 鶴友会総会 佐藤教頭他1名出席
 - 会工高祝賀会 山内副会長出席 千代滝
 - 11月22日 T科36年卒同級会 河鹿壮
 - 11月25日 会工高定期演奏会開催
 - 12月9日 会工高同総会入会式
 - 12月21日 会津会工会新年会はがき発送
- ▶平成13年
- 1月26日 会津会工会新年会 米熊 86名出席
 - 2月6日 入会式案内状送付
 - 2月24日 建友会総会 会長他2名出席 ホテル東鳳
 - 2月26日 会工高同総会入会式
 - 会長他6名出席 348人入会
 - 3月1日 会工高卒業式 会長他6名出席
 - 会工卒業祝賀会 山内副会長他3名出席
 - 3月26日 会工職員クラブ送別会
 - 梅津副会長・手代木幹事長出席
 - 4月3日 オリエンテーション 会長出席
 - 4月5日 会工高職員クラブ歓迎会 会長他2名出席
 - ホテルいづみや
 - 4月9日 会工高入学式 会長他7名出席
 - 4月28日 三菱伸銅(株) 新入社員歓迎会 事務局出席
 - 5月12日 郡山会工会総会 吉田会長他2名出席
 - 6月3日 東海会工会総会 会長他2名出席
 - 6月7日 機友会総会 幹事長他1名出席 米熊
 - 6月23日 東京会工会総会 吉田会長他3名出席
 - 上野精養軒
 - 6月24日 近畿会工会 吉田会長他2名出席
 - 7月21日 「セラ友会」総会 吉田会長他3名出席
 - 7月27日 福島会工会 吉田会長、事務局出席
 - 9月5日 西会津会工会 吉田会長他2名出席
 - 校内同窓会係打合せ
 - 10月10日 坂下会工会総会
 - 10月12日 猪苗代会工会 総会前の役員会

母校百年東京会工 会九十年を迎え

東京会工会 幹事長金子昌輝

会報発行お目出度うございませう。
東京会工会では、この度大きな
変動がありました。

会の現状をお知らせ致します。
我等が母校も、遂に意義ある百
周年を迎える事になりました。同
時に東京会工会も、九十年を迎え
ようとしております。

明治、大正昭和平成と四時代を
経て百年。いま見事な金字塔が建
てられようとしております。

幾千の恩師と、幾万の卒業生を
世に送りだしてきた、母校の偉大
なる業績を想う時、思わず感動が
湧いてくるのを憶えます。

百周年を記念する事業計画が、
三年前から始まりました。

しかし当時はスケールの大きさ

「会工同窓 百周年を胸を 張って迎えま しょう」

会長 梅津正夫
(昭26E卒)

来年母校の歴史がいよいよ百年
の節目を刻みます。そして新たな歴

同窓一万

非常に驚かされてしまいました
が、今は実行に移される時となっ
てしまいました。

実行委員 関係する方々の懸命
な努力には、只感謝の気持ち一杯
です。まことに早いものです。

扱て、東京会工会も、長い歴史
を歩んで参りました。

遠く明治のある時、故人数人相
寄り、再開を約しては続けてきた
集りも、いつしか東京会工会とな
り、今日に至っております。

私自身は、故佐藤会長、故井上
会長、室井前会長そして現赤津会
長と、四代に渡り、お付き合いを
させて頂きました。いろいろな問
題にも遭遇し、時折振り返っては
諸先輩方や同輩を偲び、懐古にふ
ける時があります。

同窓会という言葉は、いつ頃か

史の建設が開始されます。人はさま
ざまな繋がりの中で生きて行きます
が、青春の一時期を同じ一つの場
所で共に生きた事実は永遠に消せ
ない歴史です。

会工同窓会の諸行事で先輩方や
同輩、後輩の方々とお話をする時
など、自分の生きた会工時代と母
校全体の百年の流れが一瞬につな
がってゆく思いがします。個々のベ
ージは3年、あるいは4・5年だと
しても、何人かが集まってみると社

ら、どこで使われ始めたのでしょ
うか。もう幾度となく同窓会は何
か、と論じられてきました。

今、世界はグローバル化とIT
時代に入り、地方どころか国と国
をも隣近所のような錯覚にとらわ
れている如くです。

あまりに急激なグローバル化は、大
きな問題も道連れにしてきました。
富める国と貧しい国の益々の格
差と、民族意識や地理的な条件、特
に宗教問題に至っては妥協もあり
ません。それは、妬みや恨みとなり、
深い傷となり今後に残るでしょう。

身近なところでも、交通の利便
性、情報のスピード化で更にふる
さと意識も薄れつつあります。そ
んななかで、会員拡充に頭を悩ま
せているのも通例となっています。

東京会工会とは、東京近郊に生

会背景を含めて母校の百年の重み
と風格を感じる事ができます。まさ
に、会工百年の歴史は会工同窓会
の歴史であり、工業界を中心とし
て各界・各分野で活躍してきた同
窓生お一人お一人の歴史につなが
る原点といえるでしょう。

百周年記念事業の柱の一つとし
ての沿革史の編纂作業が御苦労の
中進められていると伺っています。
創立と同時に同窓会が設立された
そうですし、史実からも工業立国日

活する卒業生は全員、入るものだ
と思っております。

今年の幹事会では、会始まって
以来の仕事として、会の目的と参
加を問うアンケートを出し改めて
意識を聞く事にしました。

一万人程居り連絡のとれる人も
五千人位居ると思われませんが、そ
のうち三千五〇〇人程に案内状を
出しました。

結局入会者や入会希望者、併せ
て四〇〇人程でした。

毎年総会案内状は千四〇〇人に
出し、出席者は百人です。今年は
四〇〇人に出し、心配されました
が、同じく百人の集りがあり、ほ
つとしました。

今後四〇〇人に連絡をとれば良
く、経費の大幅な節減になりま
す。しかし同窓生意識はもう少し

本の歩みに明治37年からの100年の
間陸続と人材を生み出した本県初
の工業校としての位置は紛れも無く
不動のものです。

同窓会で久々に再会できる喜び
は、年齢に関係なく様々な意味か
ら次への出発となり、互いに励まし
にもなるのです。日本全国に広が
り、また世界で活躍する同窓生も
多い我が会工同窓会です。二十一
世紀に入り社会全体が千変万化の
様相の中で、大変経済的に苦しい

欲しかったと、残念な面も残りま
した。しかし、常に世の中は変る
ものです。

グローバルゼーションによって
かけがえのない、伝統文化「わ
び」「さび」「もののあわれ」ふる
さとという情感を失わず、「暇」
と「閑」を味わうゆとりある心も
必要です。

ふると、母のこころを想い出せ
る、会がなくなる事はないでしょう。
今年は大変革があった為会報
だよりを休刊致しましたが、来年
度は発行致します。皆様からの投
稿もお待ちしております。

相変らず総会での人気、会津盆
踊りがあります。又辛煮会、ゴル
フ会、新年会等、事業も継続して
おります。

最後になりましたが、会津工業
高校百周年記念が無事、盛大に行
われる事をお祈り致します。

何卒東京会工会共々、皆様の御
支援を頂戴出来ますようお願い致
しまして言葉と致します。

時ですが、このような時代だからこ
そ互いの激励が必要でありまた、若
い同窓生の糾合が重要に感じられ
てなりません。地元本陣の若松会
工会が元気であれば地域が元気だ。
と、同窓諸氏へエールを贈ってまい
りたいと思うのです。同窓会員諸氏
のご活躍とご発展を心より御祈念
申し上げます。

「会工健児の意気高し」と、会工
100周年を胸を張って迎えて参りま
しょう。

吟詠部への タイムスリップ

東海会工会 酒井敏喜(29E)
三重県津市在住

戦後間もない、当時を偲はせる粗
末な会工時代(1951年4月〜1
954年3月)のアルバムがある。
今から50年ものものであり、学生
時代の折々の写真が貼つてある。セ
ピア色に変色したそれぞれの写真は
当時タイムスリップさせてくれる
貴重な入り口である。

入学記念の集合写真を見ると、
昭和26年入学の我々の電気科4期
生は51人で「ぼうず頭」に「ぼう
歯の足駄(高下駄)」といういで
たちである。

ここに紹介する写真は、昭和27
年(1952年)の秋に開催され
た福島・宮城・山形県による3県
合同同体のマスゲームに剣舞『白
虎隊』で参加した時のメンバーと
先生方である。(筆者はメンバー
後列左側から2番目)

『少年団結す 白虎隊 国歩艱難
保塞を成(守)る……』会津人な
ら誰でも知っている白虎隊の漢詩
で(最近の若い人達は知らないか
な)、今から133年前に戊辰戦
争で戦い、破れ、自決した少年隊
(16〜17才)を詠ったものである。
会津の漢学者秋月章軒の作と理解
していたが、原稿を書くに当たり
白虎隊に関係するHPを覗いてみ



ると作者は佐原盛純(？〜190
8)とのことである。佐原氏の詳
細はHPでも見当らなかつた。

国体が開かれる年の春、写真後
列の先生方、特に右から3番目の
増井次郎先生と左端の渡部康雄先
生の肝いりで吟詠部が発足した(吟
詠会だったかもしれない)。「国体
で剣舞を舞おう」と言うことで、郊
外から詩吟の先生を迎え放課後連
日稽古をした覚えがある。詩吟の
先生は渡部先生の右隣の方で素晴
らしい吟詠をされる方だったが残
念ながら名前が思い出せない。

国体に向けて練習しているさな
か、白虎隊の墓前で演舞する機会
が2回あった。1回目は墓前への
奉納演舞で、2回目はブラジルに
移民された会津出身の人達が一時
里帰りされ、飯盛山を訪れた折に

披露した。その時涙ぐまれた老人
たちが居れたことが印象深く残
っている。墓前で演舞する時は授
業を免除され、バスによる送り迎
えを受けたものである。

国体のマスゲームの時は竹光の
刀だった。白虎隊の墓前での演
舞は真剣だった。この刀は先生方
が有志の方々から借用されたもの
で、刃は落とされていたが刀の重
さに身が引き締まるとともに、墓
前であることも合わせ、白虎隊員
になったような感覚で舞った覚え
がある。

吟詠部は国体での演舞を最後に
活動をストップしたと記憶してい
たが、その後剣舞同好会として継
続したようである。吟詠部の活動
は、会工100周年の丁度半分に
当たる頃の極少人数の小さな歴史
である。

東海会工会の総会の時、見事な
剣舞を披露される後輩が居られる。
あるとき、懇親会の酒の勢いで吟
詠を買って出たことがある。それ
以来「よいしょ」もあって指名さ
れるがなかなか息が続かず満足の
行く詩吟にならず、このところ遠
慮している。

今年、会社引退を機に健康管理
も兼ねて50年振りに詩吟を習い始
めた。会工時代に帰った気が若い
血潮を蘇らせたものである。



なお、見事な剣舞を舞われる後
輩は、浅沼定雄氏(33K)である。
氏は母校でも愛知県でも有名人で
あり詳細の紹介は不要であろう。

今回覗いたHPにはわかりやす
い内容で白虎隊(戊辰戦争、会津
藩)の紹介がされていた。また、
白虎隊の「墓前祭」と言う催しが
あり、墓前での演舞は会津高校の
人達が担っていることも知った。
このように会津の歴史と伝統が形
を変えつつも脈々と受け継がれて
いることは喜ばしいことである。

会工の実質剛健の伝統と増井先
生や渡部先生達の指導を得て白
虎隊の詩吟・演舞に関わったこと
等は私の働き人生を間違いないも
のにしてくれた。仕事を終えた現
在、あらためて感謝しているこの
頃である。

35C卒業 還暦同級会

平成13年8月16日東山グランドホテ
ルで還暦同級会と銘打って開催した。
19名出席。遠くは宮崎県から出席した。
高校卒業以来の再会という人もいて、
顔と名前を確かめあっている姿が印象的
でした。

宴では学校の現況と創立100周年の記
念事業の報告をするともに高校在学
当時を顧み、話が弾んだ。また、東山
盆踊りの期間中であつたので、踊り
に足を運び、踊りの輪に加わった。懐
かしい、楽しい一時であつた。部屋に
もどつてからは、夜の更けるのも忘れ
て高校時代のこと、在職中のこと。定
年後のことなど語らい、思い出深い一
夜となった。話の中から、会津を離れ
ていると、後輩の活躍のことが気に掛
かるとのこと。特に部活動の活躍がよ
うなど新聞に載っていると我がことのよ
うにうれしくなると。後輩よ大いに頑
張つてくれ
……

同窓会か
ら「芳志を
賜り感謝
本当にあり
がとうござ
いました。
これから
も健康に注
意して、35
C会の継続
を誓った。



鶴雲雄飛

福島会工会 創立100周年記念事業の 成功を期して

会長星 武
(昭27E卒)

100周年記念事業が1年後となり、その成功を期して、8月27日PM6:30から福島市内のホテルにて、同総会本部より吉田会長ならびに根本事務長のご出席を得、福島会工会が開催されました。

開会に当たり、昨年11月に亡くなられたS13C卒 穂積 榮氏のために、黙祷を捧げご冥福を祈りました。

出席のご案内は、福島地区の在住者約95名に声をかけ、当日になってからの突発出張者が4名ほど発生しましたが、23名の出席者で、内容的には盛大かつ有意義に開催することができました。

吉田会長、根本事務長より100周年記念事業活動の現状と今後の取り組みなどについての説明があり、また、福島地区同窓生の創立100周年事業への協力一覧が配付され、今後なお一層の協力についてお願いがありました。

当日出席者の卒年別構成は、S18年からH6年卒まで広い範囲での出席があり、若いものもわかも同窓と言う大きな輪の中で

質実剛健

対話も弾み、大いに盛り上がりました。

ここで残念ながら出席できなかった大先輩からの短信をご紹介します。

山口敏夫 様 8L卒 (85才)「顧みれば、級友の殆んどが戦没者か病死者で寂寥の感あり、何れ、会工会館竣工の祝賀会あれば出席するのを楽しみにしております」

会工会の発展を祈念してあります。――(自筆で達筆な筆跡でした)

後日、山口先輩に電話にて近況をお聞きしましたところ

- 1) 現在シルバーセンターに籍を置き仕事をしています。
- 2) 時間があれば図書館へ行き読書をしている。
- 3) 常に体を動かすようにしており体調はベストである。

とのことでした。

(奥様も会津の方で、実家は飯盛山近くだそうです)

今後ますますお元気で頑張つて下さることをお伝えし、電話を置きました。

さて、本会の後半は、「自己紹介と近況報告」から始まり、その中で特に力強く印象付けられたことがあります。それは、H3M卒、若者のトークの中で

「会工を出たから今の自分が在ることを認識し、今後とも同総会活動などに積極的に参加し協力して行きたい」旨の母校愛に満ちた頼もしい話がありました。

その後、祝宴も酣となり、24C卒の先輩から未来博で披露される謡曲の披露があり感銘を受けました。

中締め時間がアツという間に来てしまい、お互いに100周年記念事業の成功を期し全員起立、スクラムを組み校歌を斉唱、再会を約し閉会、会場を後にしました。



会津坂下

夢実現 会工会

会長大堀順一
(昭27C卒)

四月十五日本校の創立記念日に成田を発つ。サイパンは快晴。猪俣勇一、高久俊昭、佐藤悦朗、五十嵐一夫君他空港では、佐伯圭一郎氏(松江氏の孫)並びに弟の佐伯康次氏の出迎えを受けホテルニッコーへ行く。

四月十六日早朝砂糖王公園に松江春次氏 銃弾の跡も生々しく銅像に感激し校歌並びに応援歌を紺碧の空へとどけと大合唱をし記念写真を取り、香取神宮を御まいりし(旧日本病院)現在のメモリアル・ミュージアムへ、戦前の思い出の記念物多数(松江様の物も)展示して有り館長様はボランティアの米国人でした。午後州知事公舎に行き、北マリアナ連邦のベドロ知事閣下に面会し、我が郷土の誇り松江氏の銅像の保護整備に対する御礼の言葉をのべて一同記念写真を取りました。なおベドロ氏は日本国民学校に入学して居られる様でした。

四月十七日早朝小雨有志で海岸アギガン峰にあるコラルオーシャンボイントリゾートクラブでゴルフをしました。びっくりしたのは元日本軍トーチカがレイデステイで海岸にはあちこちに厚一メートルのトーチカが有り、戦争跡のすさまじさを再認識をし、負ける戦をしては駄目だと思いました。午後はラスト、コマンドバンザイクリフ等で戦没者慰霊碑等がはるか故国日本を見ておりました。サイパンとの交流を学校、町、市ではかりたいと思います。こうして我々一行は色々の体験をし、又、南の島の香を満喫し無事帰国できました事ここに御報告申し上げます、「訪サイパン」のレポートに致します。



REPORT & MESSAGE

電友会

恵まれた歴史に感謝

会長 真田賢祐
(昭26E卒)

電気科誕生しまして57年を迎えます。第6回定例総会も、吉田同窓会長・根本学校長先生他の多数の来賓を戴き盛大に開催され、今年度の方針として「新会員の増強」「同級生代表の選任」を柱として満場一致で承認され盛開裏に終了し、新たな活躍が期待されました。来年は母校百周年を迎え記念行事が企画され、着々と実施されています。同窓生の各人はその責任遂行に向けて同級会等を開催して趣旨の徹底を求めて高度の理解を深めて是非参加を期待申し上げます。

話し変り平成二年頃より会津歴史に関心をもち10年になります。高齢者の70の手習です。近年は会津藩の歴代藩公の生き様に変わって前回は「保科正之公」の一部を紹介しました。藩公は慶長16年(1611)5月7日に江戸神田白銀町で母方「お志津」の姉の婿尾助兵衛宅で誕生、父は二代將軍秀忠の第9番目の子供でした。秀忠の正室「お江戸」は織田信長の妹「お市」で一時浅井長政に嫁ぎ「三女」を生み

猪苗代会工会

あと一年!!

会長 寺崎敏鳳

会津工業高等学校同総会の皆様には、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、本校創立百周年に残ります。長女は豊臣秀吉の正室で後に「淀君」となります。二女は京極高次の正室となり、三女は徳川秀忠の正室で後にお江戸の方となります。將軍の間に8人の子供に恵まれますが男子は竹千代(三代將軍家光)と國松(駿河大納言忠長)の二人が健全を保ちますが、やがて後目相継いで家康の決断で國松が破れ、長女に渡り、殺生禁断令を謀反を繰り返す家光の時代に殺生と剥奪権により、上野國高崎藩主、安藤重長の基に幽閉され自殺します。男子の二人兄弟が欠けましたが、寺松(高遠藩主)が異母兄弟と知り、何故それまで対面出来ない理由、二代將軍秀光正室お市は織田信長の血筋は絶性の美人系統と人一倍嫉妬心の強い方のため

ところ、あと一年となりました。事務局そして、関係団体につきましては、名簿の整理、募金、協力金の協力願いの趣旨説明送付など多忙な時期とお察し申し上げます。

早近の経済状況は低迷が続き、生徒の就職困難や中間職のリストラなど会工関係者にも不況の荒波が押し寄せております。従いまして、企業の協賛金そして

33才まで他人女に手を付けず、お志津が初めてです。側女を嫌うお市は幸松誕生に風の便りに発覚しますが「見性院」武田信玄の次女で穴山梅雪に嫁ぐが織田信長の本能寺の変で戦死し、未亡人を家康の計らいで武州足立郡大枚村(埼玉県浦和市大間木)600石で住んでいて、お志津の危機を大枚村に匿り出産するまで滞在します。

以後二代將軍家光の存生中は対面とはならず、三代將軍家光の異母兄弟の対面まで寛永6年(1629)6月に実現します。三代將軍家光の取り計らいにより兄弟の認承が進み、内外に宣言され高遠藩3万5千石より最上山形藩20万石にさらに会津藩23万十南山天領5万石となります。慶安4年(1651)4月に家光が病

同窓会員の協力金の収集には、さぞご苦労されていることでしょうか。

わが、猪苗代会工会でも、企業や個人にお願いしているわけですが、相並びしい状況となつておるのが現状でございます。その中でも、新会員の発掘や名簿の整理などを積極的にやって、来年の記念事業が盛大に挙げてきますよう、微力ではございますが

気により死す間際に、四代將軍家綱の補佐役の遺託により13才の家綱が成人する20年間補佐します。善政の数々は多いが特に名譽欲がなく、質素儉約で住民の安泰を重視する施業は四代將軍を一大將軍と育成した。

寛文12年(1672)12月18日江戸会津屋敷で没。62才亡がらは猪苗代土津神霊として埋葬され、となりです。さて来年はいよいよ母校100周年記念する年です。この世に生まれて目出度く慶事を迎える機会与えた神仏に感謝して、この式典を盛大に完了したいものです。孫子末代まで語り草として後世に残し、若き善き時代の学窓を大きく将来に向つて残そうではありませんか。人生の大部分の基礎はこの地で形



昭和31年会津工業実業科卒業生
ニューシニア同級会御一行様
平成13年9月2日 於東山温泉庄助の宿 瀧の湯

至誠勤労

建友会 新しい夢のある 同窓会館への道

会長 手代木 利夫

平成十四年度に行なわれる会
工創立百周年の記念事業として
同窓会館の建設にあたり、我が
建友会が五社J.V.を組んで
設計をすることに決定し、設計
が進んでおります。会館もそれ
に相応しい大きな夢を持って将
来性のある会館として建設して
行きます。本校は創立百周年を
迎える伝統と歴史ある学校であ
り、工業高等学校では他校にみ
られないインテリア科セラミッ
ク科の先輩のみならずの残され
た作品が多数あり、特に漆器、
陶芸、染織（型紙）に関して展
示する場所と会館内に設け特色
のある会館を作りたいと思いま
す。我が建友会も多く設計者
の中より（福島県指名業者）人
選をして本校の特色を出し後輩
に残す素晴らしい夢のある会館
に成ると思います。

セラ友会

リポート…セラ友会事務局
一、総会報告

第二回の「セラ友会」総会は、
七月二十一日（土）午後五時よ

近づける様会員に対して少しで
も多くの寄付を御願ひして目標
に向って努力をして行きます。
企業関係寄付（建友会関連）も
厳しい中、一生懸命に、会館建
設のため努力をしております。
夢と希望のある会館へ
最近自分たちの住んでいる町を
見直しをする様になり我々建築
にたづさわる者として感じるこ
とは自分たちで作る町に強い愛
着を感じます。その建物を使用
する場合も作った物に対して強
く愛着を似つて使用する様に、
同窓会館も同じ気持ちであると思
う。夢のある会館に我が会員も
参加出来る幸せを感じます。こ
の希望を似つて進んで行くのが
会員一同の気持ちであり後輩に受
け継ぐことが我々の使命ではな
いかと思います。

事務局長、さらには、修養会よ
り電友会の真田賢祐会長、建友
会の手代木利夫会長にご出席頂
きました。
会は、二瓶正人（37K）、若狭
春生（38K）の司会進行により、
佐藤悦朗副会長（32K）の開会宣
言、物故会員に対する黙祷、校歌
斉唱、坂内茂男会長（32K）の挨拶後、議長に高羽芳満（20K）、
書記に宗像利浩（50K）を決め議
事に入りました。
佐藤松夫幹事長（33K）事務
局からの会務・事業報告、渡部
洋子（32K）会計と関場一宏監
査（33K）の報告があり、続い
て事業案及び予算案、会則の見
直し、さらには役員構成など提
出され満場一致で承認されまし
た。その他の報告事項において
は、セラ友会の名誉顧問である
吉田同窓会長が、春の叙勲にお
いて「地方自治の振興と住民福
祉の向上」に尽くした功績によ
り勲五等瑞宝章を受賞されまし
た事を会員の出席者に報告、あ
わせてお祝いをいたしました。
記念写真撮影（佐藤友信・34
K）後、懇親会に移り、来賓ご
挨拶後、福島在中の遠藤博（26
K）の乾杯の音頭が始まり、賑
やかなうちに最後は応援歌の大
合唱があり、母校・セラ友会の
発展と会員の健康を祈念し、吉
田光雄（32K）の万歳三唱で散
会となりました。



- 二、事業報告
- (1) 平成12年度事業報告
平成11年11月17日
第一回 準備会
 - (2) 平成12年1月15日
第二回 準備会
 - (3) 平成12年5月8日
第三回 準備会
 - (4) 平成12年6月19日 設立総
会ハガキ発送
 - (5) 平成12年7月15日 設立総
会・祝賀会サンパレス会津
平成12年7月28日 東京会
工会副会長の関本氏告別式

- (6) 平成12年9月7日
セラ友会 旗の作製
- (7) 平成12年10月2日
セラ友会印鑑を作製
- (8) 平成12年10月6日
セラ友会役員会
- (9) 平成12年10月21日
会工高同窓会総会出席
- (10) 平成12年11月18日
電友会総会出席
- (11) 平成13年2月24日
建友会総会出席
- (12) 平成13年5月30日 平成13年
度セラ友会総会への役員会
- (13) 平成13年6月7日
機友会総会出席
- (14) 平成13年7月5日 第二回



REPORT & MESSAGE

平成13年度セラ友会総会への
役員会

三、セラ友会役員名

名譽顧問	吉田 一栄 (K20卒)
顧問	鈴木 甲意 (K16卒)
高橋 司 (K16卒)	
高羽 芳満 (K20卒)	
水野 銀蔵 (K20卒)	
橋本 英雄 (K21卒)	
石井 久夫 (K29卒)	
津田 進 (K29卒)	
坂内 茂男 (K32卒)	
水野 正雄 (K25卒)	
渡辺 幸市 (K26卒)	
佐藤 悦郎 (K32卒)	
坂場 恒雄 (K34卒)	
荒井 士郎 (K34卒)	
佐藤 松夫 (K33卒)	



三菱伸銅鶴友会

会長 江花俊和

三菱伸銅鶴友会の会員数は現
在一三六名で、年齢構成は新入
会員の十八才から六十才までと
厚く、役職者も各職場にいて活
躍しています。

会の行事は、総会と新入会員
歓迎会の年二回ですが、一年置
きに総会を兼ねた旅行を行って
います。一昨年は三十八名で北
海道旅行を楽しんできました。

昨年度の総会は、十一月十八
日に迎賓館で五十二名の会員の
出席と同窓会事務局の根本先生
のご出席をいただいて開催し新
会長と平成十三年の幹事の選
出が行われました。

今年度に入つての活動と計画
は以下の通りです。

・一月二十六日 「会津会工会
新年会」に四名出席
・四月二十八日 「新入会員歓
迎会兼臨時総会」割烹・米熊に
て同窓会事務局の根本先生にお
いでいただき、会員八十二名が
出席して行われました。
※今年度は旅行の年に当っており、
十一月十、十一日に神戸と大阪
（ユニバーサルスタジオ ジャ

会工一九会 同級会

私達は県立会津工業学校の工業
化学に昭和十九年に入學し、卒業
は戦後の学校の改革（新制高校の
新設）により、工業学校最後の卒
業と新制高校第一回卒業生に分か
れて卒業したので同級会名を入学
年度の一九会とした次第です。

私達は、戦争中に入學し戦後の卒
業と云う混乱と不安に満ちた時代
に苦業を共にした者同志であり短
い期間の学校生活ではありまし
が再会すれば当時の事が色々と思
い出されるでしょう。近況の事
家族の事、又欠席された同級生の

パン）に決まって、幹事は準備
に追われている現在です。
▼役員は次の通りです
会長 江花 俊和
幹事長 佐藤 洋
高橋 誠（会計）
深谷 聡
増井 孝志
安部 謙一
飯村 雅和
三瓶 正幸
福島 義頼
五十嵐康友

事等、安否を気付かう話等、会が
開かれる迄も豊富な話題で旧交を
暖めていたことが心に残る一日と
なりました。
学生時代の短い間のお付合が今に
なつても忘れずに心に深く刻み込
まれていることを痛感致しました。
同級会は東京方面に就職した者同
志が時々開いて居りましたが一九
会として発足したのは平成五年五
月伊東温泉で開いたのが第一回で
あり、其の後二年毎に行うように
し、今年で五回の同級会になりま
した。名簿も少しずつ確かなもの
になりつつあります。それでも不
明の同級生がまだ数名おり、現在
調査中です。

会の初めはキーボードとCDの伴
奏で校歌を歌い、閉会前には応援
歌で締め、心に残る最高の同級
会でした。

又二年後の再会を約し老後を美
しく元
気で過
すこと
を合言
葉に散
会した
次第で
す。

平成十
二年十
月十五
日
以上



創立百年



吉田一栄 会長 73才
会津若松市材木町

勲五等瑞宝章 コンクリ業界発展に汗流す

会津若松市出身。東京工業大
付属専門部建築科卒。県コンク
リートブロック協業組合理事、
全国コンクリート製品協会副会
長を二期務め、業界の発展に力
を尽くした。
―長年にわたり、支えてくれ
たすべての人たちに感謝します。

学窓追憶

創立百周年記念事業を迎えるにあたって

教頭 渡辺 秀雄

会工一口知識

小関 栄助

会津工業高等学校同窓会の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。同窓会の皆様には日ごろより、母校に対する熱い思いと期待を寄せていただき、心より感謝申し上げます。同窓生の熱い思いと期待に応えるべく、職員一同いっそう身を引き締めて、生徒の育成に取り組んでいきたいと思っております。

正面のロータリーに校歌の碑が建っている。作曲者に新潟師範学校と山村弥久馬の名前が記載している。山村弥久馬はいかなる人物であるうか。

山村は私立会津中学校の初代校長であった。その後、岩手県立盛岡中学校の校長として赴任。そこで大仕事をおこなった。石川一（啄木）の退学処分である。これで、名を残すことになる。学術研究の旺盛な方で、校長を退いたあと新潟師範学校に入学することになる。そのかわりで新潟師範学校と名を連ねたと思われる。作曲は急にできるものではない。山村の存在は今でいうプロデューサーのようなかわりであったと考える。山村は高知県の網元の息子。七日町の山村家に養子に入る。会津だけではなく東北で活躍。

会津は山川健治郎をはじめとして、教育界の巨魁を輩出するところだ。（会津高校旧教諭三留昭男氏の論文参考）

創立百周年を平成十四年度に迎えるにあたり記念事業に対しては、実行委員会各部の精力的な取り組みが行われております。出版部会においては母校の百年の歴史を正確に調査しまとめるために、同窓生の多大なるお力をお借りして取り組んでおります。また各地区会工会をはじめ、多くの同窓生の積極的な動きにより記念事業の計画も成果をあげようとしています。同窓生の皆様には今後ともこれまで以上のご協力を賜りますようお願いいたします。



また、創立百周年をどのような形で受け止め、将来の会津工業高等学校の繁栄にむけて何をすべきか生徒・職員で検討を進めているところです。創立百周年という記念すべき時を同窓生の皆様と共に過ごし、今後の会津工業高等学校のすばらしい未来について考えていきたいと思っております。



創立百周年記念事業実行委員会も吉田一栄同窓会会長を中心に多くの委員が精力的にかつぎめ細かな活動を展開しているところです。しかし記念事業を確実に実施していくためには、今後も多くの方々のご協力と、ご指導ご援助が必要であると思っております。ぜひ皆様の更なるご協力をお願いいたします。

REPORT&MESSAGE

主任等

▼第一学年 川口芳彦 ▼第二学年 白井まや ▼第三学年 富樫 実
▼インテリア科 小関栄助 ▼セラミック科 伊藤 健 ▼化学工学科 古畑一男 ▼機械科 佐竹勝行
▼電気科 根本一雄 ▼電子科 小熊常輝 ▼情報技術科 東條 憲 ▼建築科 内藤陸朗
▼総務部 山田忠明 ▼教務部 菊池寿雄 ▼生徒指導部 風間眞一 ▼進路指導部 本田 毅 ▼保健部 馬場勇作 ▼図書部 三原敏男
▼施設部 佐藤春樹 ▼視聴覚部 梅宮昭雄 ▼情報処理部 東條 憲

◎創立／明治三十五年 ◎クラス数／二五 ◎生徒数／九九〇 ◎教職員数／一〇四 ◎同窓会員数／二二七一

激減する求人！後輩の前途にご支援を。

皆さまのご支援に感謝

進路指導主事 本田 毅

同窓会の皆様には、本校生の就職につきましても多くのご支援を頂きまして、厚く御礼を申し上げます。

1. 昨年度の進路状況

平成12年度の求人の特徴は、ＩＴ産業の好況と半導体の需要の増大により、富士通会津工場、富士通AMDおよび三菱伸銅などから多くの求人があり、地元企業への就職希望者にとっては大変恵まれた年であったことです。結果として、地元の富士通グループ企業へ本校から44名

の生徒が合格しました。以上により、100名を超える卒業生が地元就職しました。これは、当初の県外希望者のかなりの数が、地元就職にきりかえたこととなります。

県外就職では、本校OBが社長を務めておられる近畿地区の企業に、本校から2名を採用していただきました。久方ぶりの同地区への就職であり、近畿地区同窓会からは、あたたかい熱烈な歓迎をしていただきまして、誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。

厳しい就職環境の中、このようなOBによるご配慮は大変ありがたく、厚く御礼を申し上げます。

進学関係では、大学が、161%、短大が26%、専門学校が24%となっており、合計の43%はほぼ前年と同様の進学率となっています。ここ数年来、大学から専門学校への期待が大きくなっており、多くの大学から本校指定の推薦依頼が届いています。

《表1》
□就職……………一八五
県内……………一二三
県外……………五四
公務員……………七
自営・家事……………一

□進学……………一五一
大学……………五六
短大……………九
専門学校……………八六
□進路未定……………一〇
（但し、進学未定者八名を含む）

2. 今年度の求人・求職の状況

近年かつてない厳しい経済状況と雇用環境の中で、本校生に対する求人数は減少し、特に地元企業からの求人数は大幅に少なくなっています。従いまして、地元企業を希望していた生徒のかねりの数が県外企業へ希望を変更しています。これは、昨年度とはまったく逆の動向であり、激しく揺れ動いている就職環境の表れであります。

希望者……一五九
（但し、希望者数は8月下旬調査のもので、公務員希望者数を含まない）

今年の本校に対する求人の特徴は、以下の通りです。
(1) 地元からの求人数数が大幅に減少（約30社の減）
(2) 特に、半導体企業および建築・建設関係からの地元求人が、ほとんどなくなった。
(3) 県外企業からの求人数はほぼ昨年度と同様ですが、今年度も1社あたりの求人数が少ない。
(4) 専門的、技術的な職種の求人が少ない。
(5) 昨年同様に、女子に対する求人が大変少ない。

《表2》
□県外：求人企業…二六六
希望者……………七六
□県内：求人企業…六四
☆会津……………六四
☆その他……………十九
希望者……………八三
□合計：求人企業…三四九

3. インタビュの計画
今、在学中の就業体験（インターンシップ）を実施して、早い時期から生徒たちの進路意識を高めようというとりくみが重要視されています。

4. 今年の就職内定状況
《表3》
□合格者……………九二名
□不合格者……………四三名
□合格率……………約六八%
昨年度の同時期と比べて合格者数が35名減、不合格者数が5名増となっており、全体の合格率68%は前年より9%低くなっています。
また、一次試験で不合格になった場合、次に受験できる企業が著しく少ない状況で、それらの生徒の就職指導に大変苦慮しております。皆様の更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平和の覇者を育みぬ。

校歌から

学び舎 ロケーション——1 専門過程は、いま。

In インテリア科

■主任 小関栄助

産業界を川にたとえ、川上とか川下と呼んでいる。川下は顧客(消費者)に近い産業川上は素材など原料生産分野である。インテリア科は正しく川下の産業。今、この分野は外国の安い製品に押されて厳しい現状。川上の素材メーカーも然り。

さて、本校のインテリアをはじめとするデザイン関係の求人数は、必ずしも多くはないが、幸いにも広い分野に跨がっており、昨年度の進路状況は、就職16名中専門に7名、進学は17名中14名がインテリア・デザイン関係の専門学校・大学に進んでいる。求人少ない中良い結果ではなからうか。

昨年度末アップル社のマックキントッシュG4を設置し、これからの工業デザインやインターネットの画面構成などかなりの応用分野を広げて生徒の学習指導に対処できる。日夜、教材開発に取り組んでいる。さしあたり、課題研究で

は、ポスターの製作や伝統模様の再構築と応用への模索。製図では、パース図の作成をコンピュータで指導。コンピュータは道具であり、指導の目標ではない。創作活動こそ本

命。本科の目的は立体構成の三次元である。物つくりを通じての完成の喜び、難しさを体験させしつかりした技術者を育成し、十分目的を果たして

きた。しかし、ここにきて大きな躓き、物が売れなくなったことである。消費者に近い分野川下産業ほど影響が顕著に見られる。大きな原因は後進国の追い上げである。それと同時に、物がもっている社会的機能が大きく欠落しつつある。これは一因になっている。これはインテリアだけではなく工業全般にいえることである。今までやってきた工業教育だけでは良いのであるうか。この問題を生徒に投げかけながら、個性ある生徒の育成のため、新しい教育課程を切り拓く所存であります。

F セラミック科

■主任 伊藤 健

同窓生の皆様におかれましては益々御清栄の事と御慶び申し上げます。

来年、平成一四年には創立百周年を迎えます。本心に心から祝したいと思います。

この創立百周年には大変、大きな記念事業を計画されております。皆様方にも陰に陽に多大の御協賛・御協力を、お願いです。この節は、積極的な御尽力をご期待申し上げます。

昨年度、会津工業高校 窯業科(旧科名)セラミック科卒業生・親睦会である「セラ会」が誕生しましたが、その第二回の総会が開催されました。このセラ友会の席でも組織拡大に尽力して母校・会津工業高校の為に、微少でも何か貢献して上げたい事を再確認しました。

セラ友会の更なる発展を期待したいと思っております。

セラミック科の職員構成が変わりました。

前科長の斎藤四志男先生が退職され、後任に勿来工業高校から、山野敏先生を迎えまして。

に至った先生です。セラミックに興味・関心を持つ、更なる専門性を高めようとする努力・それを普段の講義に、生かそうとする教育熱心な方です。科としては戦力アップの一人として、大歓迎をしております。

平成一二年に続いて、今年は北校舎の大規模改修工事が行われております。工事が終了しますと新校舎のように生まれかわるでしょう。

進路関係ですが、一三年度も大学、専門学校に進学する生徒が増えています。大学進学は理解できるのですが、目的意識が不明確で安易に専門学校を希望する生徒の気持ちに、未だ理解できません。

就職希望者関係ですが、この何年下の構造不況の影響を受け、非常に厳しい状況に立たされておりますが、今年度は、更に門戸が厳しく就職・合格率の結果を心配しております。

平成十三年度、この逆境の中、三年生進路決定に真剣に取り組んでおります。

先輩方にも願致します。今だからこそ後輩の進路決定に、暖かい御支援と御協力を賜りますようお願い致します。

最後になりましたが、諸先輩方々のご健康とご多幸を御

C 化学工学科

■主任 古畑 一男

祈念申し上げます。また、まもなくですが、セラミック科の近況報告と致します。

平成十三年度、化学工学科は新進気鋭の谷田部俊幸先生(体育)を一学年担任に迎え、二年担任の白井まや先生(国語・二年主任)と三年担任加藤芳宏先生のもと総勢119名の生徒で毎日学校生活を送っております。科関係職員では十一年間お世話になった湯田三子先生が猪苗代養護学校に転勤になり、後任に穴澤節子先生をお迎えしました。

さらに古畑一男・鈴木長九郎・山田忠明・五十嵐徳昌・猪俣昭衛各先生方と総勢9名で科の目標達成の為、会工の益々の発展の為にがんばっております。同窓生の皆様にはこれからも大変お世話になることと思いますが、よろしくご支援の程お願い申し上げます。

平成12年度の進路状況は次

の通りでした。

就職地元15名、富士通AMD4名、三菱伸銅、シグマ、福島タカラ電気、会津日誠電気、アトム、若松ガス、秋元工業、会津光明、日豊金属化学、大嶋工業、福島日産。

県外7名、東洋電業、大庄、ビーブル、丸善石油化学、栄工舎、滝川化学、住友化学。進学四大6名、日大工学部2名、埼玉工大、いわき明星3名。専門学校9名。

厳しい就職状況が続いておりますが、進路実現に向けさらに努力が必要と思っております。

13年度就職試験も始まりましたが例年以上に厳しい状況で、特に地元の求人が激減しています。今年の希望状況も昨年と同じ割合ですが、一段と苦戦が予想されます。

化学工学科に石けん製造プラントが導入されて今年で満二〇年を経過し、その間廃油の再利用による環境にやさしい石けんを作り、環境教育に貢献してきました。もちろん化学工学科の総合実習としてのプラント運転で学習効果の向上の為大きな役割を果たしています。綿密な保守管理にもかかわらず、二〇年働いたボイラーもついに故障し、先日新しいボイラーに取替えていただきました。事務の方には県への交渉など大変お世話になった所です。

一〇〇周年を来年に控え、会工の益々の発展を願っております。

M 機械科

■主任 佐藤勝行

この春の人事異動により、科主任として各方面で活躍なされました十二所先生が退職なされ、板橋敬先生が喜多方工業高校に転勤されました。後任として電気科から佐藤春樹先生、喜多方工業高校から湯田恒弥先生が機械科の職員に新しく加わりました。又、一年一組担任の国語科・鈴木亜希先生、二年二組担任の社会科・大塚久泰先生、三年二組担任の保健体育科・山寺清司先生の強力なエンジンを持つ三名の先生方を含めて総勢十六名で会工そして機械科発展の為に頑張っております。

機械実習室にも年次計画で施盤が新しく四台設置されました。暗かった工場内も少し明るくなり、同時に実習時にも活気が見られる用になりました。

ところで、この不況の中、進路指導は大変ですが、機械科の場合は素晴らしい結果を得ました。これもひとえに、諸先輩方々のご尽力の賜と感謝しております。平成十二年度の卒業生七十七名の就職進学の結果は以下の通りです。就職者四十八名(地元三十六名、県外十一名、公務員一名)、進学者二十九名(四十一名、短大三名、専門学校十五名)

さて、機械科の生徒が各種大会において活躍している研修部について報告いたします。(平成十一年度分)

○全国ロボット大会予選福島県大会：二台出場
○全国電動カート創作コンテスト高校選手権大会：二台出場(平成十三年度・二部門で優勝致しました)

○ホンダエコノパワ―燃費競技全国大会：一台出場
○全国相撲ロボット競技大会東北大会：六台出場

○全国相撲ロボット競技大会全国大会：二台出場
(高校生の部一台、一般の部一台)

いずれの大会においても素晴らしい成績を残しております。毎日夜遅くまで残って、勝てるロボット・勝てる車の制作に当たっている先生方・生徒諸君には只々関心するばかりです。更に素晴らしい成績を得るために先輩各位のご協力の程をお願い致します。

最後に全ての事に對し懸命に頑張っている機械科職員を紹介致します。

佐藤春樹、笠井英雄、佐竹勝行、平山賢実、川口芳彦、湯田恒弥、渡部哲、茂木利幸、佐藤信仁、岩田善一、栗田克志、高橋浩一、佐藤貴裕です。

E 電気科

■主任 根本 一雄

平成十三年度、昨年度に引き続き電気科主任を担当する

ことになりました。私よりも若い、もっとやる気のある人にバトンタッチをしたかったのですが、諸般の事情によりその責務を担うことになりましたので、同窓生の皆様のさらなる協力のほど、お願い致します。

年度末の人事移動により、残念ながら(私達職員は不本意でありましたが)会津地区の生徒減の影響を受けて、電子科が閉科になり、その結果として、電気科主任を三年間にわたってなされ、科を指導していただいた佐藤春樹先生を本校の機械科へお送りすることになりました。

来春の卒業生の進路指導については、不況といわれた過去数年よりさらに、地元・県外とも、求人が少なくなり、本心に心配されます。

電気科は、諸先輩方の社会での活躍のおかげで、今までは比較的余裕があったのですが、本年度は電気科指定の来校求人が減っております。科の職員も地元企業を訪問して、お願いにあがったのですが、仲々良い返事が少ない状況にあります。そのためか、例年よりも大学や専門学校への進路希望が増加しております。

去る七月二十四日に、中学三年生や学校関係者への体験入学を実施致しました。その際、本年度から科のピリアルを体育館で行なうことになり、電気科では、○基礎から応用までやさしく学べる電気科、○地元企業に必要とされる電気科、○景気に左右されない電気科、の三本柱をにかけて情宣致しました。本当にこの

ことが実現できるよう職員一同、力を合わせて頑張りたいと思います。

昨年度と比較して、指導内容や設備の変更点では、二年生への電気工士の技能試験への対応として、一学期に試験向けのテーマを組み入れました。その成果は、先日合格発表がありましたが、本年度の二年生の合格率は昨年に比較して、大幅に向上致しました。又、最近では実施していませんが、プリント基板作りを復活させて、生徒達の電子回路作りの興味をおこさせております。

実習の評価に関しても科会で話し合い、欠席者には格段にきびしくすることになりました。

設備面では、基本論理回路実習のためのブレットボードを十五組購入して、実習中に一人一台使用させて、理解の徹底につとめております。

最近の科の様子をご報告してあいさつと致します。

最後になりましたが、同窓生の皆様方の増々のご活躍を期待しております。

D 電子科

■主任 小熊常輝

同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、常日頃ご支援をいただき大変心強く思っていること

J 情報技術科

■主任 東條 憲

同窓生の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

六月下旬、東京を中心に求人開拓のため企業訪問をさせて頂きました。その中で、ある企業の人事担当の方から人材活用の基本的考え方が大きく変化してきていることを伺って参りました。先ず処遇の問題ですが、従来は年功序列型で年功のある人は、経験が長く豊かなため仕事上の能力が高いとして、より高い賃金で処遇されてきましたが、最近、技術革新がめざましく新しい技術の担い手は、必ずしも経験の長い年輩者ではなく、むしろ若い人たちである

とあります。

二〇〇二年には電子科の最後の卒業生を送ることになりましたが本心にさびしいかぎりで残念でなりません。

進路関係では、就職希望者17名(地元8名・県外9名)公務員希望者2名、大学進学希望者8名、短大進学希望者1名、専門学校進学希望者11名となり就職試験は9月16日(土)より解禁になりました。よい結果が出ることをおおいに期待しているところであります。

最後になりましたが今後ともより一層のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

というところで、「年功の長さ」＝「能力の高さ」と言う等式は成立しない職場も増えてきているとのことであります。又、勤務形態も従業員の意志を尊重する制度が多く導入され、自分が働く時間をフレキシブルに設定できるフレックスタイム制とか、自分の勤務地を自分で決める限定勤務地・転勤免除制とか、社内から応募者を募る社内人材公募制などと大きく変化してきています。つまり人材活用の考え方が従業員の意志を尊重する勤務形態と本人の能力にあった処遇をする傾向が強くなったと言つこと。企業が求める人材は、「なんでもこなす万能な人」より特定の分野に高い専門性を有するスペシャリストなのです。一方求職者側から企業にスペシャリストとして認められる最も手取り早い手段は、公的資格を取得することではないでしょうか。よりレベルの高い資格を取得することは自分のスキルスポイントを得ることにもなるのです。本科では次のような指導方針に沿いながら、資格・検定の取得を奨励しております。則ち、各種資格・検定を大きく二つにわけております。

①基礎資格(全ての生徒が取得すべき資格で全員受験させる)、②挑戦資格(より高いレベルの資格で希望者に受験させる)です。①として、一学年で計算技術検定4級、パソコン検定3級、情報技術検定2級、二学年でパソコン検定2級、情報技術検定1級です。②とし

て、情報処理関連の国家試験、CG・画像処理・マルチメディア検定、etc。特に、四月に実施された基本情報技術国家試験（全国高校生合格率5・7％）で、二年生の舟窪恵一君が見事合格し、各種新聞で大きく報じられました。十月二十一日に予定されている秋季国家試験には、二年生13名、三年生1名が受験いたします。

昨年度の進路決定状況は、地元就職者11名、県外就職者4名、公務員1名、専門学校13名、私立大学8名、国立大学1名、公立短大1名、進学浪人2名でした。中でも特筆すべきは、十一年度卒業生が

県立会津大学一般受験で合格したことです。

今年も又、各種ロボットコンテストに向け夏期休暇を返上し、製作に打ち込む指導担当教師と生徒の姿が見られました。産フェアロボット2基、相模口ロボット2基、惜しくも全国大会出場はなりませんでしたが、製作した生徒諸君と指導教師の顔は、モノづくりの喜びと完成した成就感、満足感で溢れていました。現在は、一二月に実施されるカラーリーコンテストに向け2年生、3年生が製作にあたっています。上位入賞を目指し頑張っていると思います。

一年を振り返り近況をご報告致します。今後とも科職員一丸となり、「豊かな創造力と逞しい行動力を持った将来のスペシャリスト」の養成に努めますので同窓生諸兄のご指導ご支援を心よりお願い申し上げます。

建築科

■主任 内藤 陸朗

OBの方々の有難さをはじめと感謝する今日の頃です。就職依頼等での会社訪問の際

の応待者、現場見学会での現場責任者、インターンシップ依頼先の主任等々、ことある度にOBの方々にお会いして面会を見ていただきました。会津の建設業界を担っておられることを実感した一年でした。PTA役員でも、会長に菅原正晴さん、副会長に佐藤満さん、幹事に桑原忠義さんと中核を担っています。

建築科は在校生の活躍もめざましいものがあります。日常の学習活動に真剣に取り組んでいる姿が見られ、何よりです。夏休みはほとんど毎日登校して製図にとり組む三年生が多いのです。「野口英世賞」の論文でもはじめて応募・入選

をいたしました。会工祭でも「大賞」「生徒会企画」両部門で一位です。球技大会総合一位（二年建築）は、久々の古豪復活を思わせます。

部活動で活躍する建築科の生徒の多いのも特筆すべきでしょう。野球・バレー・バスケットではチームの中心として活躍し、県大会上位を占めています。全国大会に、新体操・ソフトテニス・ボクシング・水泳で建築科の生徒が出場しています。

応援歌から

奮るえや会工の健男児

学び舎

生徒会

■顧問◎高久 礼子
渡部 亮
馬場 勇作
■会長 市川 堅

今年度の生徒会活動を年度始めから振り返ってみてみたいと思います。

まず、春に行われた生徒会総会は、質問や意見が多く、例年以上に、活気のある内容

になりました。その中でも、「紺ソックスを校則で認めてほしい」という意見が出され、生徒会の総意として、学校に要望しました。

その後、先生方の話し合いが何度か行われ、校則で許可されるのが決まり、価値のある総会になったと思います。

七月に行われた球技大会は、昨年同様、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球を行い、二日間に渡って熱戦が繰り広げられました。審判を下さった、各部の生徒の皆さんの協力によって

スムーズに進行することができました。それにより、皆さん共々、楽しい時間を過ごせたことと思います。

その他に、各部活動の表彰式を定期的に行いました。特に今年、運動部の活躍が目立ち、全国大会に、ボクシング、水泳、ソフトテニス、新体操、陸上部が出場し、素晴らしい成果を上げました。また、国体選手に、バスケットボール部の星翔太君が選ばれ、水泳部からは、山口雅文君が背泳ぎで、見事全国七位という結果を残しました。

吹奏楽委員会

■顧問◎片平喜美代
佐野 正司
吉川 久雄

以上が今年の出来事です。来年は、いよいよ創立百周年を向えます。生徒会でも来年度に向け、いろいろな企画を残したいと思っています。そして、記憶に残る百周年記念となることを願っています。

	男	女	計
1年	11	2	13
2年	8	4	12
3年	7	3	10
合計	26	9	35
<科別>			
In	5	7	12
F	2	2	4
C	4	0	4
M	2	0	2
E	4	0	4
D	1	0	1
A	5	0	5
J	3	0	3
合計	26	9	35



最近全国的な傾向として男子の楽器経験者は極めて少ない。従って本校も初心者の基礎練習を重視した練習内容を工夫している。楽器の扱い方、技術及び音楽性を身につけるまで大変な努力を要する。挫折する者もいるが毎日練習を欠かさずやる者は上達が早い。

恒例の行事全会津音楽発表会、及び県発表会是一年生の初舞台となり想像以上の緊張感とその達成感を味わった。次はコンクール、合宿、野球応援等……練習は一年中休みなく続く。今年特に県大会の補助員として大会運営に携わり会工生の力量を発揮した。

空手部

■顧問◎村田 光夫
高橋 弘光
■主将 小柴 祐樹
■副主将 正太郎

年の21回定期演奏会を成功させてほしい。力を合わせて独自の演奏会が実現できることを期待している。

押忍!!空手部です。今、自分達空手部は、ある目標に向かってがんばっています。

その目標とは、県大会での優勝または入賞をすることです。しかし今の空手部の実力ではその目標の足元にも及びません。

今年の初め、今まで空手部を引っ張って来た先輩達が引退しました。そのせいか私達後輩のやる気が無くなり今から自分達がこの部を引っ張っていくなど考えもできません。しかし、やらねばならないのです。まだわからない事や困難なことがたくさんあります。さらに、二年生ほとんどが高校から空手を始めた人達です。最



平成12年度 第20回 会津工業高等学校吹奏楽定期演奏会 平成12年12月9日 於 会津風雅堂

弓道部

■顧問◎黒澤 静子
戸井田睦美
■主将 五十嵐慎一

我々弓道部は、2年生2人1年生8人で日々精進しています。大会では、自分の射がでず、緊張やプレッシャーに負け、今まで通りにいかず、くやし涙をのむなどしています。そこで、もう一度正しい体

剣道部

■顧問◎馬場 勇作
渡部 泰明
■部長 山川 康人

配を見直し会を充実させ基礎を重点的に覚え、毎日毎日、一本の矢ごとに集中し、自分の悪い所を仲間同士で声を掛け合い、先生のアドバイスを受けながら練習していました。

「お前達は伝統ある会津工業高等空手部員だ」と。そんなのです。自分達は今まで先輩方がきずきあげてきた伝統に泥をぬらぬよう頑張らなければならぬのです。

前回の大会では、あまりいい成績は残せませんでした。が、精一杯やれた事で、自分達の自信にもつながりました。しかし全然まだまだです。目標には手がとどきません。これでは満足してはいられません。空手部員全員が強くなる必要があります。自分達は、これから、先輩方の教えと伝統をもとに、心身を鍛えあげ、目標に向かって頑張っていきたいと思っています。押忍!!

サッカー部

■顧問◎鈴木 哲
緑川 誠
■主将 岩田 善一
記 関口 徹

でまず、三年生は悔しい思いをしてきました。しかし、その三年生の背中を見てきた一、二年生が今、一生懸命汗を流しながら真面目に部活に取り組んでいます。これからさらに部長を中心とし協力していきます。

僕達サッカー部は、県大会ベスト4、そして、東北大会出場を目指し、日々厳しいトレーニングに励んでいます。今年の春から、新しく鈴木先生を部に迎え、これまでの会工サッカーの伝統に、たくさんのお力を加えようと、数多くの実践経験を積んできました。

山岳部

■顧問◎五十嵐 進
中野 善司
■部長 渡部 裕

今年の山岳部は3年生2人2年生1人、1年生4人というスタートだった。昨年は3年生引退後、新人大会は2年生1人、1年生1人という状況



スキー部

顧問◎茂木 利幸
益子 茂
長谷川知宣
主将 山野 敏
六澤 宏之

我が会津工業高校スキー部は、クロスカントリ部とアルペン部の二つのセクションに分かれています。部員はクロスカントリ部九人、アルペン部九人、それにマネージャー三人の計二十一人で、顧問の先生方は茂木先生、益子先生、長谷川先生、山野先生の四人の先生方に着いてもらって、日々練習に励んでいます。

スキーのシーズンは冬ですが、春夏秋冬のオフシーズンももちろん練習しています。練習内容は、長距離走、インターバル、ローラースキー、ローラブレード、登山、自転車、水泳などとにかく様々な練習をします。これらの練習はどれを取ってもハードで、この練習を乗り越えた者が冬のシーズンで好成績を収めることができます。

昨年は国体、全国インターハイ、全国高校選抜大会、東北大会など上の大会まで進んでいる選手も数多くいたので、今年は昨年以上の成績を収めたいと思います。

また、今年こそは現在三十数連勝中の猪苗代町にある一高校を破り県総合優勝を目標に頑張りますので、会津工業

高校スキー部の応援よろしく
お願いします。

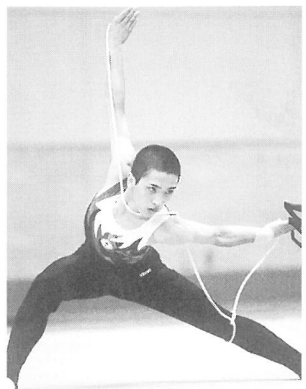
体操部

顧問◎加藤 義勝
菅家 慶広
主将 佐原 尚樹

僕達体操部は、昨年より多くの新人部員を迎え団体、個人ともに昨年度の成績を上回るよう日々努力をしています。

その結果、東北大会で団体三位に入賞し、個人では種目別三位という良い成績を収め、全国大会への出場権を手にし、全国大会では団体、個人ともに昨年度よりも好成績を収めました。

また東北総体では個人種目に四人が出場し、佐原由規（一F）が棒で二位、佐原尚樹（二J）が輪で優勝、目黒真一（三A）がなわで優勝し個人種目で総合一位という好成績を収めました。団体でも



三位に入賞したのですが、総合得点でおしくも二位にはなれず団体出場権を得ることができませんでした。

来年は今年の経験を生かし一人でも多くの選手が良い演技ができるよう日々がんばりたいと思います。

▼成績
県高校大会：団体一位、個人総合一位目黒（三A）二位（佐原二J）
東北大会：団体三位、個人総合六位佐原（二J）
全国大会：団体十四位個人総合十三位種目別なら五位入賞目黒（三A）
東北総体：団体総合三位
全国選抜：個人総合十位佐原（二J）

卓球部

顧問◎渡部 鉄仁
鳴瀬 良
主将 二瓶 雄一

僕達卓球部は、部員が少ないながらも、みんな一生懸命がんばってきました。今年度のインターハイでも三年生が少なかったため、二年生もレギ

柔道部

顧問◎白岩 格
渡部 哲
主将 湯田 恒弥
五十嵐太一

柔道部は、顧問の白岩格先生、渡部哲先生、湯田先生方が忙しいため、毎日指導を受けながら練習することはできませんが、二年生を中心に毎日練習に励んでいます。

九月二日に行なわれた、全会津秋季大会では、今の三年生が引退し、新制柔道部になってから、初めての大会でしたが、昨年の結果をうまく引き継いで、一年生は自信を持って、二年生は浮かれることなく練習に励み、新人戦でも良い結果を出せるように、柔道部一丸となって頑張っています。

水泳部

顧問◎佐藤 良子
額田 憲一
主将 鈴木 裕太

インターハイ東北大会で、本校レギュラーチームが標準記録を突破し、全国大会への出場を決めた瞬間であった。

態で、部の存続が危惧されるほどであったが、今年は右のような新メンバーの入部があり、勢いを盛り返した。更に年度途中から一年生が二人入部し、心強い限りである。

さて、今年の活動だが、例年の如く、4月には新人歓迎ということで猫魔・雄国山（一泊二日）、5月地区大会で、大津岐峠・大杉岳（二泊三日）6月県大会で大杉岳・会津駒ヶ岳（三泊四日）7月夏季登山技術講習会として大戸岳と山行を重ねてきた。

県大会は優秀パーティーを目指して準備してきたが細かなところで評価が得られず、今年も苦い結果であった。しかし初心者的一年生が苦しい思いをしながらも、しっかりといてきてくれていて嬉しい限りであった。来年に期待がたなげる。

夏山合宿は今年は県外、朝日連峰縦走であった。8月4日から3泊4日の日程で、山形の日暮沢から入り、西朝日岳・金玉水・大朝日岳・北大玉山・祝瓶山・大石橋というコースであった。時間と生徒の体調を考えて祝瓶山ははずしたが、かなりの長丁場を一年生達もメインザックの重さに耐えながら、しっかりと歩いてくれた。雄大な山脈を自分の足で歩いたこの山行は各自の自信につながったことであろう。小荒井顧問が故障で同好できなかったのが残念であった。

8月末には地区新人大会があり西大願へ。2パーティーで参加。今後は9月末に県新人大会

硬式テニス部

顧問◎海老沢康広
佐藤 信仁
星野 恭代
部長 野澤 学志

ユラーとなり、なんとか県大会出場をはたしました。しかし主力だった三年生がぬけたため、全会津総合体育大会では思うような結果がこせず、くやしい思いをしました。

その分いまでは、部員全員が「勝たたい」という気持ちが出てきて、最近ではどんな力をつけてきています。また、三年生もいそがしい中部活に参加し、一、二年生へ指導もしてもらい、夜おそくまで練習しています。今年の新人戦や来年のインターハイでは、今よりさらに強くなり全会津入賞、そして県大会での入賞がとれるようにがんばっていききたいと思っています。



という結果でした。やっぱり先輩の層のうすさが結果にひびきました。でも、今年は猛暑の中のキビシイ練習や合宿の成果が出て、新人戦の結果は

団体戦 優勝
シングルス 優勝
ダブルス 二位

という結果を上げました。これから寒さのキビシイ冬の力を合わせて、来年の高校体連に向けて努力をしていきます。

ソフトテニス部

顧問 川口 芳彦
清水 裕智
主将 谷澤 亮一

今年度の部員数は、3年生3人、2年生3人、1年生7人（内女子2人）とここ数年

バスケットボール部

顧問 三原 敏男
菊地 寿雄
主将 加藤 芳宏
佐藤 裕司

僕達バスケットボール部は三原、菊池、加藤の3人の先生の指導のもと、日々、練習

バドミントン部

顧問◎鈴木 亜希

に励んでいます。

今年のチームは去年と違い全体的に高さはあるが、スピードの面で欠けているところがあるので、全員が走れるチームを目指して、現在は基礎体力づけと持久力をつけるために、走りこみを中心に練習しています。

最近では、一年生にも経験豊富な選手が多く、徐々に力をつけてきています。

僕達の一番の課題は、ディフェンス力の強化だと思つたので、チームの目標をオフエンスよりもディフェンスの強化におくことを決めました。

そのディフェンスも今までの守りのディフェンスではなく、攻めるディフェンスを心がけて練習しています。

練習で出来ないことは、当然、試合でも出来るわけがないので、つらい練習も我慢しながら頑張っています。

そして、その練習の成果を練習試合で確認しながら、チームとしての形を完成して行きたいと思っています。

当面の目標は、新人戦の地区大会優勝と先輩達が出来なかつた県大会のベスト4入りを目指しています。

部員全員が、一丸となって目標に向かい頑張れば必ずよい結果がついてくると思います。諸先輩方の応援を宜しくお願いします。



部長 鈴木美枝子
佐竹 勝行
遠藤 高志

バレーボール部

顧問◎山寺 清司
谷田部俊幸
古畑 一男
主将 土屋 剛

我々男子バレーボール部は、山寺先生、谷田部先生、古畑先生のご指導のもと、先輩達の成しえなかつた県大会優勝という大きな目標を達成させるために、日々厳しい練習を夜遅くまで取り組んでいます。今年の県大会はベスト8という結果に終わり、悔いが残

ボクシング部

る大会になってしまい、来年の県大会では先輩達と共に感じた悔しさをバネに頑張りたいと思います。

3年生の最後の大会の県総体では、新しく入った2年生が足を引張り、ベスト8という結果になってしまいました。先輩達の力にはまだまだおおよばず、県大会で勝つていく事の辛さ、先輩達がベスト4までいった凄さを痛感しました。

先輩達の成果はもちろん、県大会優勝という目標を達成させるためには、まだまだたくさんやらなくてはいい課題が残っています。

ポジションごとの能力向上も、もちろん必要なことです。6人みんながコートに入った時のチームプレーも必要だと思っています。6人がひとつになり、様々な力を出し合うことが大事だと思います。

僕は前年度同様、身長も低く、目立った選手もいないのでつなげるプレーをしたいと思いい、日頃からトレーニングの強化を中心に練習しています。そして何よりも大切なことは、メンタル面です。どんなチームにも負けない強い精神力、強気のプレー、まずは気持ちで負けないように練習から取り組んでいきたいと思っています。

今年の新人戦は、会津一位で大会に出場し、自分達が納得できるような成績を残したいと思っています。

顧問◎富樫 実
主将 高橋 徳郎
遠藤 広大

我ボクシング部は、顧問の富樫 実先生と高橋徳朗先生のご指導のもと、2年生5名、1年生8名で毎日厳しい練習をしています。

練習内容は、体操をしてから学校の回りを走って、ロープ、シャドウボクシングをして体を温めてから実践練習のマスボクシングをします。それから、サンドバックを叩いてウェイトトレーニングをして一通りの練習が終わります。練習は2時間もかからないので、短時間に集中して行なうことができます。

練習を行う環境も良くなりました。去年は、大きな鏡が数枚貼られたリングの一部も新しくなったり、先輩が使っていたサンドバックもいただきました。こうした環境が年々良くなっていくことで、練習も効率よくでき、やる気も出てきます。

こうしたことが今年の県高校大会で団体優勝ということになりました。この大会では3人の優勝者が出ました。団体優勝というのは、会津工業にボクシングができてからの初めてのことで、この時に部長で居られたことはとてもうれしいことです。このことは、顧問の先生にはもちろん先輩たち、保護者の方々

野球部

顧問◎栗城 一郎
大塚 久泰
本田 朋亮
渡部 巧
主将 星 幸之輔

いままで応援してくださった地域の方々大変喜んでいただき良かったです。

この後の東北新人大会でも2位の者がいたり、熊本で行なわれたインターハイにも3人の選手が出ることができました。また、団体の予選になる東北総体では、ライトフライ級で優勝者が出てライトフライ級、ライトウェルター級で2人の選手が国体に出場することも決まりました。

このような活躍をすることで、会津工業のボクシングのレベルも上がってきたと思います。

ボクシングと言うのは、攻撃・防御には頭脳のなプレーや体力的にもとてもハードなスポーツです。しかし、試合に勝てた時は、今までの練習の成果が報われたような気がして気持ちが良いです。だからボクシングをなかなかやめられない人が出てくるのだと思います。

今後の目標は、次に行われる大会でも団体優勝を目指します。そして、もともとと会津工業ボクシング部の名を広められるようにしっかりと頑張っていきたいと思っています。

陸上競技部

顧問◎富岡 卓志
主将 佐藤 貴裕
大関 大輔

3年生もぬけ、今年の陸上部は女子選手三名を含めた約三十名の、一、二年生で部をスタートしました。3年生もぬけたため部はなかなか活気がなく、まともなラブルが続きでしたが、話し合いの場を置くなどして、部がまとまりつつあります。

夏休みは、少し長めの距離を重視し基礎体力の向上を計るなどして顧問の富岡卓志先生と佐藤貴裕先生のご指導のもと、新部長二人を中心に新しい目標、「インターハイ出場」に向けてがんばっています。今の部には目立つ選手がいないので、総合優勝も困難というのが現状です。

ですが、一人一人が一丸となつて少しでも総合優勝に向かって、そして一人一人が活躍できるようにがんばっていききたいと思ひますので、みんなの暖かい声援よろしくお願いします。

演劇部

顧問◎渋谷 祥雄
渡部 亮
部長 江川 大

今年の演劇部は厳しい。遂に部員が一桁になってしまった。去年から危ないとは思っていたが、どうやら予感的中してしまったようだ。まあこうなつたからには仕方がない。「演劇は人数ではない」ということを体現していきしかないだろう。厳しい時こそ部員一人一人が精一杯力を出し切ることで、より様々なものを得たり学んだり出来るように思う。

さて、今年の演劇の活動だが、春の大会ではつたないながらもなんとか成功と呼べる域に達したと思う。別にいい芝居が出来たとか、素晴らしい演技が出来たとかいうわけではない。少ないながら始まった今年の演劇部だが、あの瞬間、皆が一つのものをやりとげようとする一体感を、私は成功と呼んでもいいのではないかと思う。だが、それで満足してはいけな。客観的に見ればまだまだ技術的にも部としてもレベルが低い。表現をするという行為を人に見せるのだから、見る者に何らかのものを伝えなければならぬ。客を満足させられなければ何の意味もないといつもい。でも私達はプロではない。部活という環境の中で自分達が楽しみ、高め合うのが最大の目的だと思う。それが出来たうえで、人を満足させられたり、伝えることが出来たのなら、それはとても素敵なことだと思う。まあそんなに都合よくいかなくても、そこに至るプロセスはとて大切なものになることは間違いない。私達がやっているこ

だ!!

輝かしい汗や涙を流し、感動を与えることや、自分を鍛えることだけが部活動ではないだろう。ただ、楽しい“だけの部活もありだ”と思う。結局はその日常の中で何を見つけれられるかだと思ふ。僕達、会工美術部は、おそらく技術面で他の高校に劣っているだろう。だがしかし、これからの世の中、まして美術・アートの世界においては、いかに“新しい発想”を生み出していくかではないか。きっと僕達が作っていく「おもしろさ」の中に新発見を見出していくだろう。

今までもそうだし、これからもうさうだろう。リョウ先生率いる会工美術部は、他に見えない個性派として会津地区に君臨するのだ。そんな僕達の作品は身近で見られる。毎年六月には「文化福祉センター」にて展覧会が開かれていて一般の人でも入場無料なのでぜひご覧あれ。おそまつ。

自然科学部

顧問◎青井 勝
部長 高橋 利雄
星 知宏

自然科学部の今年度の目標は、部費が増えたので魚類以外の生物を飼うことですが、今の所まだ購入のめどがたつておらず、今の活動内容は以前と同じメダカと金魚の飼育ですが、今年度中にはこの目

アマチュア無線部

顧問 梅宮 昭雄
部長 斎藤 友之

今年、無線部の活動は、主に今後の部活動のための準備期間だった。まず四月は部室内にあった使用不可能な機材を大量に処分した。五月にはアンテナの調子を見るために無線機につなぎ交信をしてみようと試したが反応がなかった。六月にはアマチュア無線の4級の試験があったが、危険物の試験が近かったため受けなかつたようだ。七月には今まで使用していたアンテナを外しFMHZ帯のダイポールアンテナを設置した。こちらは調子がよく交信もうまくいき先日QSLカードが届いた。

あとは副部長の星君や他の一、二年生に頑張ってもらおう。

JRC同好会

顧問◎松本 靖弘
会長 高久 礼子
高畑 牧子

私たち、JRC同好会は、会員数13名で、活動しています。

社会部

顧問◎山田 忠明
前田 宣裕
部長 小田 雄太

美術部

顧問◎渡部 亮
佐藤 正道
岩淵 浩之
部長 山口 稔行

東北側の西端から対角線に道路があった時代のなごりで、「字切図」には記載されているそうです。本校は江戸時代には武家地であったので、古い地図と現在の地図を重ねあわせてみるのも興味深いテーマだと思ひます。

幸い、インテリア科には図面の処理にすばらしい性能を発揮するコンピューターがあるらしいので、小関科長にお願いしてこのテーマを發展させてゆこうとしています。

我々の作品を、創立百周年の「会工百年史」に載せていただければ幸いです。

美術部はあまり目立たない部であることはみなさんが知ってのとおりである。他の運動部の活動状況から比べると何もしていないように思われがちだが、会津地区の美術部の中では、「個性派」として輝いている。そう、僕達「会津工業美術部」は個性で勝負し続けているのである。現三年の僕達も変わりものだが、その僕達がビックリするほどに彼ら後輩くん達はすごい僕が知る限りの部長はひとくせもふたクセもある強者だったが、新世代の部長となるだるうGくんはそれをしのぐ大者

生活科学同好会

顧問◎高久 礼子
星野 恭代
戸井田睦美
会長 小原 大輔

私達生活科学同好会は、名前からはなかなか想像しづらい同好会です。しかしやっていることは至って単純。皆で料理を作って食べる。これだけです。しかしこれはとても大切な事なのです。今の家庭は

